

2014

PRODUCT ROADMAP OVERVIEW

この資料はPentahoWikiにある資料を株式会社KSKアナリティクスが2014年2月に日本語訳したものです。スケジュールや内容は資料作成時点での目安であり内容を保証するものではありません。

Pentaho製品ロードマップ概要

- Big Dataブランディング
- 使いやすさの向上
- プラットホームへの埋め込み機能を強化
- Big Dataとの統合、分析をリード

5.0 Q3 2013

Big Dataリーダーシップの拡大

- PDI: DB処理とETL処理の最適解
 - InstaView テンプレートのバブリッシュ
 - Adv. Analytics: Rサポート, 検索, 予測
- ## エンタープライズ向け機能の拡大
- 操作権限の拡大
 - データ系列と影響分析

5.1 Q2 2014

Big Dataリーダーシップの拡大

- ブレンド化データセット (InstaView パブリッシュ)
- クラスタ内の監視とデバック (Hadoop)
- Hadoop (YARN)向けETLエンジン
- MongoDBを利用し分析する機能の統合拡大
- セキュリティの拡張: Kerberos, 共有オブジェクト

6.0 Q4 2014

継続的に
注力する
機能

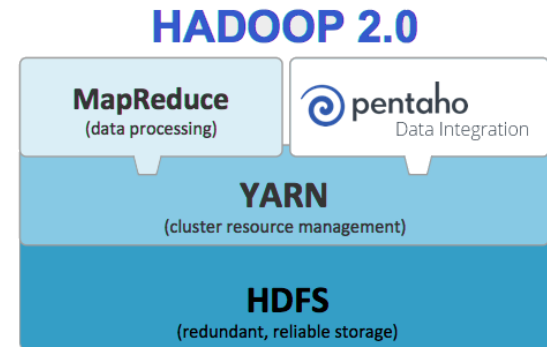
ビジュアライゼーション: 新しいビジュアライゼーション, 一貫性の向上

使いやすさの向上: 利用者からのフィードバック, インストールと更新, UI向上, 冗長なタスクの削減

Pentaho Business Analytics 5.1 (Q2 2014)

Big Dataリーダーシップの拡大

- ☑ ブレンド化された複雑なデータセットのデプロイをシンプルに
 - InstaViewデータセットのBAサーバーへのパブリッシュと共有を実現
 - データ更新間隔の自動化機能を追加
- Hadoop向け次世代データ統合
 - ☑
 - ネイティブ(YARN) Hadoop統合： MapReduceの知識なしでHadoopに ETLJobを実行可能
 - Pentaho MapReduce (Vizor)のモニターとデータプレビュー
- Big Dataセキュリティの拡張
 - ☑
 - HadoopとMongoDB用にKerberosをサポート
 - ETLジョブ設計時のHadoop接続管理をシンプルに
 - Knox (Hortonworks) & Sentry (Cloudera)サポートの評価



Pentaho Business Analytics 5.1 (Q2 2014)

Driving Ease-of-use and Simplicity

- ✓ MongoDBの分析
 - アナライザーを利用したデータ探索とビジュアル化
- ✓ ビジュアライゼーション機能の継続拡張
 - 新たなグラフタイプ - サンバースト, コードチャート
 - より大容量データをビジュアライズするための新たなオプション (ズーム)



Pentaho Business Analytics 6.0 (Q4 2014)

Leadership in Big Data Integration & Analytics

- ✓ Big Data統合の拡張
 - Hadoop構成のトラブルシューティングに便利な診断、デバック機能を追加
 - Rの統合: Rスクリプト実行機能、 ETL 又はPentaho MapReduce ジョブのスクリプト
- ✓ 次世代分析エンジン
 - モンドリアンのパフォーマンスとスケーラビリティ向上(High Card support)
 - メジャーのグループ化, 属性分析, 多対多ディメンジョン
- ✓ ビジュアルの向上
 - viz. タイプの追加 - ツリーマップ, フォーキャスト, タグクラウド, クロスフィルタ
 - データ内容と属性タイプに合ったビジュアル化の推奨機能
 - リアルタイム ビジュアライゼーション (stretch goal)
- ✓ ブレンド化されたデータセットの設計、デプロイ、パフォーマンスを強化
 - プロンプトを含むInstaView のテンプレートデザイナー
 - InstaViewテンプレートを利用したデータセット作成をユーザーコンソールに統合
 - プッシュダウン オプティマイゼーション(DB側で処理かETL側で処理かを最適化)
- ✓ エンタープライズ向け機能の拡大
 - 操作権限設定項目を拡張しより詳細なユーザー設定を可能に
 - 共有オブジェクトのより詳細なセキュリティ (PDI)
 - Pentahoソリューションの系列、影響分析